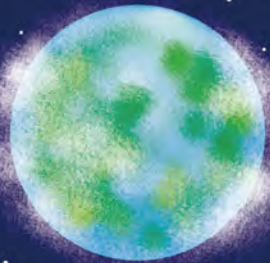


惑星



杉並区議会議員 脇坂たつや

●事務所(自宅)

〒166-0004 杉並区阿佐谷南3-27-10 TEL. & FAX.3391-7717

●区議会控室

〒166-0004 杉並区阿佐谷南1-15-1 TEL.3312-2111(内線2307)

発行日 2010.11

杉並区民の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

ご挨拶

7月の杉並区議会議員補欠選挙では、皆様から力強いご支援を賜り、私脇坂たつやを区議会に押し上げて頂きまして、本当にありがとうございました。選挙が終わってから早くも4カ月が過ぎ、先日は第3回定例会が開催されました。私にとっては初めての議会となり、大好きな杉並のために、何点か質問を致しました。今後この区政報告書を通じて、私の議会での活動を報告してまいります。お手すきの際にでも是非ご覧頂ければ幸いです。どうぞ引き続きのご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

決算委員会の質問(2010.10)

雇用問題

杉並区では雇用問題の改善に向けて様々な取り組みをしています。その中の一つに、求職中の区民の参考になるように、企業の求人情報を区のホームページ上で公開する「すぎなみワークインフォメーション」があります。このサイトには求職者からは多くのアクセスがあるとのことですが、運営側の実態としては求人数も少なく、ホームページの更新回数も限られています。ハローワークという仕組みがある以上、区として新たに雇用対策を講じる場合は、より多くの効果が得られなければ、かえって求職中の区民を残念がらせてしまいます。私は、杉並区が引き続いて独自で雇用対策を進めるのであれば、求職者の気持ちを考慮した上で、この仕組みを抜本的に見直し、明確な雇用創出人数の目標を立てるように要望致しました。

敬老事業

毎年敬老の日の近くに、長寿をお祝いして年輩者を招待する式典があります。現在、杉並区には5万人もの年輩者が住んでいますが、残念ながら式典には5千人の方しか来ることが出来ません。1人でも多くの方のご長寿をお祝い出来るように敬老事業の見直しを要望し、その点に関して田中区長から前向きなご答弁を頂きました。



長寿応援ポイント事業

昨年10月より始まった長寿応援ポイント事業は、生涯現役でありたいと願う年輩者にとって、社会進出のきっかけとなり、生き甲斐や健康、地域の支え合い等の活動を支援する目的から、非常に意義のあるものとして私は敬意を表しています。今回はこの1年間に取り組んできた内容について確認をしました。今、杉並区では地域通貨の検討が始まっています。長寿応援ポイント事業と地域通貨の融合も検討事項になります。その過程の中で、長寿応援ポイント事業の年齢制限の撤廃を訴え、地域社会に参加する全ての区民にポイントを付与することが出来るように取り組んでまいります。

成人学習支援

成人学習支援とは、若者や勤労男性の地域参加を働きかける取り組みです。しかし、参加人数は増えず、なかなか思うような効果が出ていないのが実情です。災害等の緊急時には若者世代の協力が不可欠ですし、活力ある町づくりのためにも是非若者の地域参加を促していくべきだと要望し、制度の見直しをする旨のご答弁を頂きました。私自身も同世代になりますし、今後はこの取り組みに対して、より一層力を入れてまいります。

脇坂たつやプロフィール

- 昭和57(1982)年6月杉並生まれ杉並育ちの28歳
- 早稲田大学政治経済学部経済学科卒業
- 民間企業にてサラリーマンとして5年間勤務
- 自民党杉並支部の公募に合格し、平成22(2010)年7月、杉並区議会議員に初当選
- 所属委員会は文教委員会及び災害対策特別委員会



タイトルは惑星に

この度初めて発行した区政報告書ですが、タイトルは「惑星」になりました。ご存じの通り、惑星という言葉は恒星の周囲を回る天体を指します。私は惑星のように地元杉並区をグルグル歩き回って、日常の悩み・要望を区政に反映してまいります。合わせてWack(自称・ワックと呼んでいます)がSay(言う)という語呂も掛けています(苦笑)。また、惑星には実力・手腕が未知であるが、有望とみられる人という意味もあるそうです。新人議員ではありますが、皆様からの期待に応えることが出来るように精一杯頑張ります。